

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2010年第27号(週報)

2010年第27週(7月5日~7月11日)・月報6月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— 流行性耳下腺炎 : 患者報告数は非常に多い!! —

海南保健所管内の定点当たり患者報告数は、9.00人(前週:2.00人)と急増し、警報レベル基準値を超えました。その他、田辺保健所管内で警報レベル基準値を、岩出、御坊保健所管内で終息基準値を超えています。また、湯浅保健所管内では、注意報レベル基準値を超えています。

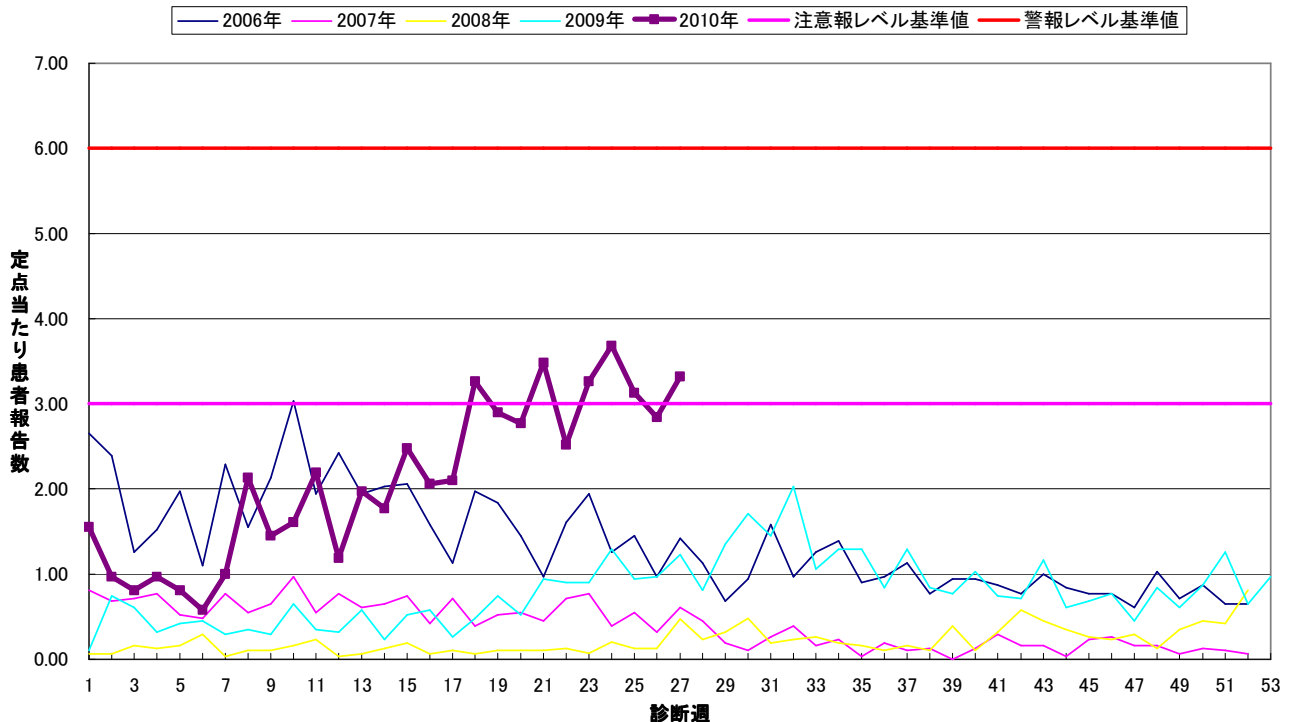
県全体の患者報告数は3.32人(前週:2.84人)と継続して高い水準となっています。これは、全国や県内の過去5年間の同時期の報告数と比較して非常に多い状況ですので、今後の動向に注意が必要です。

なお、流行性耳下腺炎の警報・注意報レベル基準値は警報が6.0人(終息基準値:2.0人)、注意報が3.0人です。(ともに定点当たり患者報告数)

流行性耳下腺炎(ムンプス、おたふくかぜ)の詳しい説明はこちら

http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_35.html

流行性耳下腺炎(和歌山県全体)



－ ヘルパンギーナ： 県全体の患者報告数が急増中！！ －

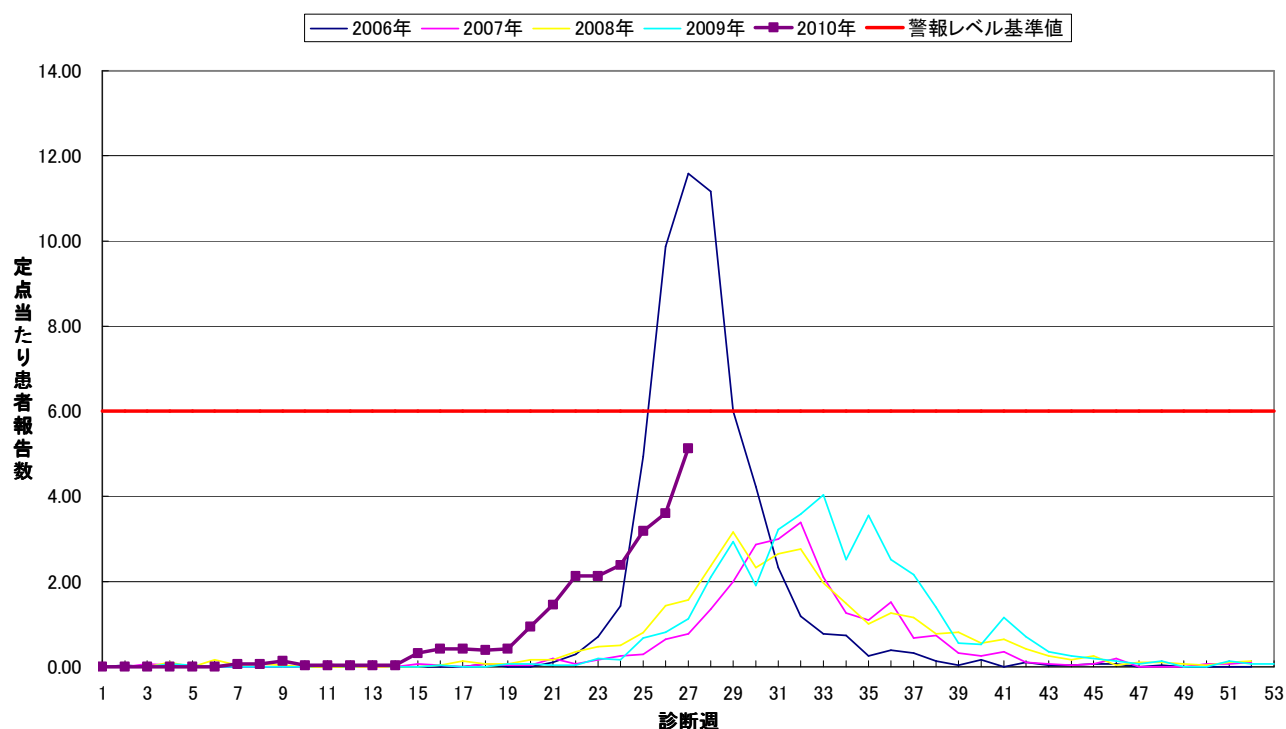
和歌山市、岩出、田辺保健所管内の定点当たり患者報告数はそれぞれ、7.22人（前週：3.89）、8.75人（前週：6.75人）、6.00人（前週：5.50人）と警報レベル基準値を超えています。また、新宮保健所管内の患者報告数は、5.50人（前週：6.50人）と減少しましたが、終息基準値を超えています。

県全体の患者報告数は、5.13人（前週：3.61人）と全国や県内の過去5年間の同時期の報告数と比較して多い状況が続いています。夏場に流行する疾病ですので、今後の動向に注意が必要です。

なお、ヘルパンギーナの警報レベル基準値は6.0人（終息基準値：2.0人）です。（定点当たり患者報告数）注意報レベル基準値は設定されていません。

ヘルパンギーナの詳しい説明はこちら (http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_08.html)

ヘルパンギーナ(和歌山県全体)



－ その他の感染症 －

伝染性紅斑：田辺保健所管内の患者報告数は2.00人（前週0.50人）となり、警報レベル基準値（2.0人）を超えました。県全体の患者報告数は、0.45人（前週：0.19人）で特に多くはありません。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 2名
 - 3類感染症：報告はありませんでした。
 - 4類感染症：報告はありませんでした。
 - 5類感染症：麻疹 1名

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	119
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	13
A型肝炎	1
オウム病	1
つつが虫病	5
日本紅斑熱	2
レジオネラ症	3
アメーバ赤痢	2
急性脳炎	3
後天性免疫不全症候群	3
梅毒	2
破傷風	1
麻疹	1
風疹	1

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- 手足口病（湯浅保健所管内）
- ヘルパンギーナ（和歌山、岩出、田辺、新宮保健所管内）
- 流行性耳下腺炎（海南、岩出、御坊、田辺保健所管内）
- 伝染性紅斑（田辺保健所管内）

注意報レベル

- 流行性耳下腺炎（湯浅保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29
RSウイルス感染症	報告	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	7	-	-	1	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-
	定当	0.23	-	-	0.03	0.06	-	0.06	-	-	-	0.03	-	0.03	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	17	-	1	1	3	1	4	1	-	2	-	1	3	-	-
	定当	0.55	-	0.03	0.03	0.1	0.03	0.13	0.03	-	0.06	-	0.03	0.1	-	-
感染性胃腸炎	報告	57	-	6	8	5	3	8	6	7	4	2	3	5	-	-
	定当	1.84	-	0.19	0.26	0.16	0.1	0.26	0.19	0.23	0.13	0.06	0.1	0.16	-	-
水痘	報告	41	1	2	7	9	5	7	8	1	1	-	-	-	-	-
	定当	1.32	0.03	0.06	0.23	0.29	0.16	0.23	0.26	0.03	0.03	-	-	-	-	-
手足口病	報告	69	-	2	10	15	13	6	9	6	-	3	3	1	-	1
	定当	2.23	-	0.06	0.32	0.48	0.42	0.19	0.29	0.19	-	0.1	0.1	0.03	-	0.03
伝染性紅斑	報告	14	-	-	2	-	3	1	2	3	-	1	-	2	-	-
	定当	0.45	-	-	0.06	-	0.1	0.03	0.06	0.1	-	0.03	-	0.06	-	-
突発性発疹	報告	20	1	8	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.65	0.03	0.26	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	159	-	4	28	29	32	26	18	6	7	5	4	-	-	-
	定当	5.13	-	0.13	0.9	0.94	1.03	0.84	0.58	0.19	0.23	0.16	0.13	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	103	-	1	7	7	13	18	22	16	7	6	2	4	-	-
	定当	3.32	-	0.03	0.23	0.23	0.42	0.58	0.71	0.52	0.23	0.19	0.06	0.13	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-: 患者報告がない、…: 保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本支所
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	3	-	1	-	-	-	3	-	-
	定当	0.33	-	0.25	-	-	-	0.75	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	1	1	2	1	3	3	4	2	-
	定当	0.11	0.5	0.5	0.25	1	1.5	1	1	-
感染性胃腸炎	報告	35	4	9	6	2	-	-	1	-
	定当	3.89	2	2.25	1.5	0.67	-	-	0.5	-
水痘	報告	21	2	4	-	9	2	1	2	-
	定当	2.33	1	1	-	3	1	0.25	1	-
手足口病	報告	22	5	11	1	8	3	15	4	-
	定当	2.44	2.5	2.75	0.25	2.67	1.5	3.75	2	-
伝染性紅斑	報告	1	-	-	5	-	-	8	-	-
	定当	0.11	-	-	1.25	-	-	2	-	-
突発性発疹	報告	8	-	3	1	3	3	1	1	-
	定当	0.89	-	0.75	0.25	1	1.5	0.25	0.5	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	65	7	35	6	4	7	24	11	-
	定当	7.22	3.5	8.75	1.5	1.33	3.5	6	5.5	-
流行性耳下腺炎	報告	18	18	21	2	9	7	26	2	-
	定当	2	9	5.25	0.5	3	3.5	6.5	1	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	1	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	1	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

調査の対象となる感染症の中では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が最も多い状況が続いています。これは、全国の状況と同じです。また、患者報告数の最も多い年齢階級層は70歳以上で全体の70%近くを占めています。

その他の感染症の報告数については、和歌山県の場合、毎月0人から数人と非常に少ない状況にあります。

【6月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	27	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	3	2	18
	定当	2.45	0.09	-	-	-	0.09	-	-	0.09	-	-	0.09	-	-	0.27	0.18	1.64
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2010年第27号

発行日：平成22年7月15日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。